

令和3年4月

ヒグマによる人身事故の防止

令和3年4月、厚岸郡厚岸町において山菜採りのため入山した男性がヒグマに襲われ、死亡するという痛ましい事故が発生しました。

春先は、ヒグマが冬眠から目覚め、活発に活動を開始する季節です。それと同時に、人々が山菜採りや釣りなどで山林や川に立ち入る機会も増え、今回のような事故が発生する危険性が高まります。

再発防止のため、山菜採りや釣りなどで山林に立ち入る場合は、特に以下の点に留意願います。



● ヒグマはあなたのすぐそばに

ヒグマは、山奥だけでなく、車道から少し立ち入った山林に巣穴を作ったり、子育てや採食活動をしたりしていることもあります。山林内は既にヒグマの生活圏内であり、「この辺なら絶対に大丈夫。」と安心できる場所はありません。

● ヒグマとの遭遇防止

1 鈴、笛及び熊スプレー等の携帯と効果的な活用

ヒグマは人と比べて嗅覚・聴覚に優れ、通常、真っ先に人の存在を認識し、人を避けながら行動しています。よって、ヒグマに自身の存在を知らしめることが重要です。鈴や笛、ラジオなどの各種装備を携帯し、効果的に活用してください。

2 すぐに退散すること

ヒグマの足跡や獣臭など何らかの気配を感じた場合や、食痕のあるシカ等の死骸を見つけた場合には、すぐ直近にヒグマが潜んでいる可能性が高いことから、すぐに退散してください。

釧 路 方 面 本 部 地 域 課